

公共施設の再編に関する意見交換会 概要報告

日 時	令和元年11月2日(土)18時30分～19時40分																									
場 所	三関地区センター 多目的ホール																									
対 象 地 区	山田地区、三関地区、須川地区、高松地区																									
参 加 者	21 人																									
	内 訳	計			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
	山田地区	6	6	0	0			0			0			0			6	6		0			0			
	三関地区	8	8	0	0			0			0			0			5	5		3	3		0			
	須川地区	5	5	0	0			0			0			0			3	3		2	2		0			
	高松地区	1	1	0	0			0			0			0			1	1		0			0			
	そ の 他	1	1	0		1	1		0			0			0			0			0			0		
	計	21	21	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	0	5	5	0	0	0	0	
市 出 席 者	湯沢市公共施設アドバイザー、 総務部長、企画課長、企画政策班長、担当																									

概 要

開 会																			
あ い さ つ	総務部長																		
説 明																			
	<p>(企画課)</p> <p>① 公共施設を取り巻く課題</p> <p>② エリア別の公共施設再編方針(案)の概要</p> <p>③ 集会所の地元譲渡にかかる支援策の概要</p> <div>   </div>																		

概 要

情 報 提 供

湯沢市公共施設アドバイザー 川嶋幸夫氏



質疑応答、
意見交換



○前回の意見交換会にも出席しており大体の内容は承知しているが、山田地区センターが老朽化しているため、地域住民としては今後の改修、補強について、どのような方針を立てられるのかが知りたいところである。各地域にはさまざまな機能を持った施設があると思うので、地域の方々とこまめに協議をして進めていただきたい。エリア別再編計画には、災害時の避難所としての機能という言葉は出てこないが、最近は災害が多く、災害時の機能も検討されたのか伺いたい。

⇒(市)市の方針として、地区センターは地域自治組織、そして地域の皆様の活動の場として継続する。山田地区センターについては、旧耐震基準で建築しており、老朽化も進んでいる状況であるので、今後2年間で耐震補強を含む改修をするか、建替をするかを検討することとしている。各種調査をしたうえで、使い勝手等、地域の皆様と話し合い、相談をしながら方向付けしていく。防災上の観点では、全国的に想定外の災害等があり、市としても重要なことと認識している。学校の体育館を中心に市内の33施設を指定避難所としており、現在、増やす計画は無いが、災害時の備蓄品など、避難所の設備を充実させる環境整備が必要だと思っている。また、本庁舎、各支所庁舎については災害時の拠点となるため、耐震補強を進めている。このほか市民の皆様に災害時の情報伝達が万全でないという課題があり、今年度からの2箇年で防災行政無線を設置する。具体的には、緊急時に屋外スピーカーで情報を伝える仕組みで、市内に140基のスピーカーを設置し、全戸に情報が届くようにするものである。以上のことを含め、防災上の取組は、年次計画をもって順次対応していきたい。

⇒(アドバイザー)市は、これからも残していく必要がある施設については、2年間で予防保全計画を作る予定である。山田地区センターは、耐震補強して残すのか、もう少しコンパクトに建て替えたほうが経済的に合理性があるのではないかというようなことを、地域の皆様と協議しながら2年を待たずに方向性を出さなければならない。補強して残すことになると保全計画に位置付けていくことになるので、出発点としてどちらの選択をするかを整理しなくてはならない。防災と公共施設の関係については、市は地域防災計画で避難所を33施設指定しているが、それは今ある公共施設の中から必要な場所に指定しているため、その公共施設がなくなった場合には、防災計画の中でしかるべき場所に、それに代わるような機能の避難場所を設置するなどの見直しが必要になる。小中学校の体育館については耐震補強されているため、解体するのではなく、残した時にどう有効的に使っていくのか、御協議させていただきたいと思う。

○市町村合併前に建設された公共施設が大変多いと思う。そういった施設は、地元の人たちと意見交換して、残したいものは残して、いらないものは撤去することが一番良いと思うので、地元の人々の意見を聞いていただきたい。

○人口減少により異常なほど変化しており、すべての面に影響してくると思うので、十分考えたうえでないと大変なことになる。

○スケジュールについて、検討する期間が2年から3年で、実行するのは未定のように見える。

⇒(市)大まかな方針はあるが、その具体的な結論が出ていないものほとんどであるため、今後2年間協議を進めるということである。再編計画は10年間の計画であり、その中でもエリア別再編計画で示したものは特に優先的に進めたい。検討という言葉が多いため協議を加速化して、できるだけ検討という言葉を取りたいと思っているが、すぐ決まるものではなく、地域の皆様や施設の利用者との話し合いが必要なものもあるため、この2年間で集中的に進めたいと考えている。

⇒(アドバイザー)検討の内容について、市の職員との議論を進めており、再編計画の成案化までになるべく具体的に書けるように精査している状況である。山田地区センターについても、例えば地域の皆様との協議が進み、一定の結論が出れば、その内容を計画書に記載していくようなスピード感で進めている。そういった意味で、2年間を待たずに、検討という文字をできるだけ取っていきたくので、ぜひ皆様にも御協力をお願いしたい。市から協議の話が来た際には、地域でもしっかり受けとめていただいて、御返事いただければと思う。

○須川地区センターも改築の予定になっているが、学校統合により須川小学校も閉校となるという話がある。市としてもまだはっきりしたことは決まっていないとのことだが、再編によって全部中心部に集中させると、免許返納した高齢者は施設まで行くことができなくなるので、地区に必要なものは各地区に造っていただきたい。

⇒(市)須川小学校と三関小学校は、令和3年度を目標として湯沢西小学校に統合したいという内容で、教育委員会が学校再編計画素案をまとめている。教育委員会では地域の皆様と協議を進め、12月までには議会への協議を行い、結論を出したいと考えている。地区センターについては、各自治組織が地区で活動できるように、現在の機能を維持していくということであるため、地区センターを統合することは考えていない。須川地区センターについても、耐震補強を含む改修か、建替かを決定する必要があるため、今後地域の皆様へ御相談させていただく予定である。

○意見交換会に参加しているが、説明だけで具体的に進んでいく様子が見えない。この場には、山田、三関、須川、高松の人がいるので、そちらを重点的に話してもらいたい。

⇒(市)お住まいの地域の話はもちろん大切だが、市内全域についても関わって御意見をいただきたく、市全域の公共施設の状況と、今後のスケジュール等を説明させていただいたので、御理解いただきたい。個別には、担当課により今後具体的に協議する場、検討の場を設けさせていただく。

⇒(アドバイザー)早いうちに一定の方向性を示せるよう、協議を加速していく。

○湯沢市全体のことも聞きたいが、山田、三関、須川、高松の地区センターを具体的にどうするかが一番聞きたいことである。老朽化が進んでいる。市から案を出してもらった方が、意見交換になると思う。

⇒(アドバイザー)市の方針として、耐震補強して少し長持ちさせていく改修をするか、建て替えるか、建て替えるにあたっては、もう少しコンパクトにできるかどうかということを前回説明させていただいた。地域でもどちらがいいのか議論しておいていただければ、市から伺った際に、速やかに決められると思うので、ぜひ地域で議論を進めておいていただきたい。

○地域でまとめるより、案を持ってきてもらったほうがスムーズに決まると思う。検討でなくて、決めてもらいたい。

⇒(市)地域の皆様にとっては不安な点だと思うので、今日の意見をふまえ、早期にたたき台を提示できるよう進めてまいりたい。

⇒(アドバイザー)湯沢市に関わることとなり、まず初めにしっかり地域の協議会ができていて、その協議会が地区センターを中心としたまちづくりを進めていることを聞いた。このことは、全国的に見ても素晴らしい取組であるため、地区センターはすべて残す必要があると考える。ただし、今ある施設が使えるか使えないかというのは別問題である。地区センターの機能は残すけれども、その施設をどうするかを早急に決めていかなければいけないと市にお願いしてきた。地区センターの施設はどうするのか、その中で行う仕事の内容はどうするのか、管理運営体制はどうするのか、その3つに絞って、地域ごとにお示しできるよう、できれば年度内に一定の方向性まで持っていければと思う。

○湯沢市全体のことも大事だが、地元の話が無く、物足りなかった。三関小学校もあと何年かで統合とのことだが、具体的にどのように進んでいるか知りたかった。

⇒(市)学校統合については、本年5月に教育委員会が学校再編計画素案を示しており、PTA、地域の方々と意見交換を行ってきたと報告を受けている。教育委員会では、小中連携教育を推進したい、地域の特色をいかした教育をしたい、児童数の減少を踏まえ複式学級は解消したい、適正な学校規模は1学級あたり25名が望ましいという教育方針に基づき検討している。その結果、この地域では、令和3年度に三関小学校と須川小学校を湯沢西小学校に統合したいとのことで、12月には、議会の皆様と協議、決定いただく予定である。

⇒(アドバイザー)資料では、稲川地域の4つの小学校が統合した場合のイメージ図があるが、まだ学校の統廃合が確定した訳ではないため、学校の施設をどう使っていくかまでは描けない状況である。学校統合が決定した後は、空いた校舎や体育館を使ってどういった施設再編を行っていくのか、この周辺のエリアについてもプランが示されると思う。エリア別の再編計画は逐次更新していくため、その段階で皆様に御説明していく機会があると思う。

○駅周辺に新しい施設を造るとのことだが、雄勝中央病院にできる病児保育を市内に設置したらいいのではないか。

⇒(市)これまでも病後児保育はあったが、このたび11月に雄勝中央病院の空き病棟を整備して病児保育のサービスを提供する。病児の場合、医療スタッフの配備が必要であるが、今後の利用状況などをふまえ、検証していくことになると思う。医療スタッフとの連携が必要になることから、まずは雄勝中央病院を利用させていただいてスタートしたという状況である。

(アドバイザー)今日皆様からいただいた御意見の多くが、早く具体案をもって地域に説明に来るようという内容であったと思う。

(市)地域自治組織については、協働事業推進課が担当課になっているが、7月以降すべての自治組織との意見交換会を実施している。地域自治組織が活動するうえでは、支援職員、財政的支援に加え、活動拠点の整備が必要とのことで、まさに地区センターが重要になってくる。なるべく早く、案を持って地域の皆様と具体的な協議をする機会を設けたいと思う。